

東京都湾奥に珍客

「トカゲエソ」の採捕



トカゲエソ (*Saurida elongata* (Temminck and Schlegel, 1846))

東京都内湾海域では、秋口から初冬の頃に刺網によるカマス漁が行われています。江戸前のアカカマス（写真）は脂の乗りもよく高値で取引されています。

令和2年10月22日、羽田沖で刺網操業していた港漁協所属の辰宝丸（船主 鈴木忠之さん）より、見たことのない魚が獲れたと当協会に連絡がありました。



アカカマス

調べたところ、胸鰭の位置や側線鱗数からトカゲエソ（写真、尾叉長 36.4cm、体重 384g）であることがわかりました。トカゲエソは青森県～九州南岸の浅海の砂泥域にすみ、主に練り物の材料などになります。トカゲエソは東京湾口部では釣りで混獲されていますが、これまでに当協会が行った湾奥の調査で採捕されたことはありません。

トカゲエソは紀伊水道・瀬戸内海・豊後水道などに多いことから、環境の変化に伴い、東京都湾奥にも南からの珍魚の出現が増えるかもしれません。

ちなみに、平成28年には羽田沖の刺網で南方種であるカタボシイワシが獲れたことがあります(<http://tokyoto-naiwan.server-shared.com/48.4.25kataboshiewashi.pdf>)。